



令和 6 年 7 月 8 日

報道関係 各位

名古屋市総務局市立大学部
市立大学課長 牧田 泰久
電話：052-972-2192

本件に関する問い合わせ先
名古屋市立大学教育研究部
研究開発課長 中井 淳子
電話：052-853-8639

(名古屋市教育医療記者会・市政記者クラブと同時発表)

多種多様な行政課題・地域課題の解決に貢献 「共創まちづくり研究推進事業」を開始しました

名古屋市立大学では、昨年 12 月に「なごや先端研究開発センター」を設置し、自己財源に加え、名古屋市や企業等の支援・連携による「なごや共創研究基金」の資金を活用しながら、研究力強化を推進しています。

このたび、「なごや先端研究開発センター」における新たな研究力強化の取り組みとして、市の協力・連携のもと、「共創まちづくり研究推進事業」を開始しました。

この事業は、大学提案型による行政課題・地域課題の解決を目指すもので、学内で公募した研究課題に市を始めとした多様な主体と連携・協働して取り組みます。

第一弾として、令和 6 年度から 2 年度にわたり取り組む **50 件の研究課題** を採択しました。本事業を通じて学内の研究を活性化させ、研究の知見を地域社会に還元し、産学官で共創しながら地域の発展・成長により一層貢献してまいります。

1 共創まちづくり研究推進事業の概要

- 行政課題、地域課題の解決や地域の発展を目的に、独創的・先駆的な学術研究、また、地域のまちづくりや市民の健康増進に寄与・貢献する応用研究等に対し、2 年度にわたり研究費（共創まちづくり研究推進費）を配分
- 市立大学の研究シーズと地域ニーズを共有・マッチングし、市を始めとした多様な主体と連携・協働して取り組むことで、研究成果の社会実装、地域貢献につなげ、自治体・民間等からの寄附講座設置・共同研究の促進を図る

2 令和 6 年度の採択課題について

- 件数：50 件 ※内訳は別添のとおり
- 研究費：1 件あたり、最大 100 万円／年×2 年間（予定）
- 研究 2 年目（令和 7 年）の時点で、今後の発展・展開が期待できる研究課題については、市職員や市大教職員等による研究内容のヒアリング、市による課題解決への貢献度評価などを経て、寄附講座の設置や共同研究等の実施を目指します。

令和6年度 共創まちづくり研究推進費 採択課題一覧

別添

○少子化・健康長寿 若い世代の希望をかなえ、市民のさまざまなニーズに対応した先進的な医療研究を推進

No	所属	補職	申請者氏名	研究課題名
1	医学研究科	教授	高桑修	名市大附属病院群の医療系多職種が共創する新しい多職種連携教育の開発
2	医学研究科	寄附講座教授	野村洋	記憶の想起障害を回復させる神経機構の解明
3	医学研究科 (東部医療センター)	准教授	高木博史	お酒の代謝能力の個人差に基づいたNCDs対策の構築：アルコール代謝関連遺伝子と動脈硬化性疾患の関連
4	医学研究科	講師	後藤志信	原因不明不育症におけるプロゲステロン感受性遺伝子の同定と機能解析
5	医学研究科	研究員	宇佐美琢也	介護保険・レセプトデータベースによる大腿骨近位部骨折のリスク推定～AIモデルを活用した介護予防プログラムのエビデンス構築～
6	薬学研究科	教授	舘知也	適切なセルフケア・セルフメディケーションを目指した「なごや健康コミュニティ」の創成 ～薬剤師が主導する屋根瓦式アプローチを用いて～
7	薬学研究科	准教授	矢木宏和	血清タンパク質の糖鎖プロファイルの性周期変動の探査と分子メカニズム探究
8	看護学研究科	教授	窪田泰江	健康寿命の延伸に向けたフレイル予防施策の提案および排泄ケア機器の開発

○子育て・キャリア支援 安心して子育てができる社会、自分らしい生き方を実現する力を育む社会環境づくりに資する

No	所属	補職	申請者氏名	研究課題名
9	医学研究科	教授	上島通浩	子どもの健康生活指標となる尿バイオマーカー開発と親子への情報提供方法の検討
10	医学研究科	講師	成田朋子	産休・育休中の女性血液内科医の専門知識と経験を生かした診療支援の開発
11	医学研究科	講師	内田恵	周産期の父親の不安や抑うつを軽減するためのスマートフォンアプリの開発
12	医学研究科	助教	岩田幸子	睡眠障害の在宅評価からの育児環境の改善
13	薬学研究科	講師	齊藤将之	市販薬の安全使用と過量内服予防を目指す薬剤師主導の教育プログラム開発
14	経済学研究科	教授	鶴飼宏成	起業家教育支援者育成プログラム開発～「教えない教育」を基本としたアントレプレナーシップ・エドゥケーター道場創設に向けて～
15	人間文化研究科	准教授	天谷祐子	キャリア教育の取り組みと自己理解をつなぐ支援が中学生のキャリア構築に及ぼす効果の検討ー先行事例集を使用して
16	人間文化研究科	准教授	松村智史	名古屋市の子ども・子育てを重層的に支える体制の構築に関する研究ー「なごや子ども・子育てわくわくプラン」の実現とさらなる飛躍に向けてー
17	人間文化研究科	准教授	谷口由希子	多様な選択が尊重される「子育ての社会化」に関する研究
18	看護学研究科	教授	加古英介	産休、育休を学びのチャンスとする遠隔看護実習システムの構築
19	看護学研究科	准教授	大橋麗子	医療的ケアニーズのある子どもを支える学校看護師の育成-学校看護師のワーク・エンゲイジメント向上とキャリア成熟のための支援プログラム-

○**なごや学** 名古屋のまちづくりや社会教育、歴史、観光、文化振興等の醸成等について考察を進める

No	所属	補職	申請者氏名	研究課題名
20	人間文化研究科	准教授	佐藤美弥	名古屋をフィールドとしたデジタル・ヒューマニティーズの創生

○**DX・イノベーション** デジタル技術による市民サービスの向上、先進技術の社会実装に貢献

No	所属	補職	申請者氏名	研究課題名
21	医学研究科 (みどり市民病院)	講師	山田敏之	医療ICTを活用した『なごや医療「DX」モデル』の確立
22	理学研究科	教授	渡邊裕司	ひらめきウォーキングで市民の健康づくりー複数センサによる深層学習を用いた歩行ビッグデータ解析ー
23	データサイエンス学部	准教授	小川泰弘	名古屋市条例沿革データベースの構築

○**災害対策・環境保全** 自然環境が持つ多面的な機能を活用し、災害に強く、自然が身近にある都市空間を形成

No	所属	補職	申請者氏名	研究課題名
24	医学研究科 (みどり市民病院)	教授	藤田義人	新興感染症に対応する外来機能の構築に関する研究
25	医学研究科	特任准教授	川出義浩	地域在住高齢者の災害時の薬物療法継続に関する意識調査ー要因分析から地域特性に基づく災害対策強化を目指すー
26	医学研究科 (東部医療センター)	講師	今井一徳	災害時に職員が参集できるかを予測するためのトリアージの開発
27	看護学研究科	准教授	安岡砂織	チーム名古屋市で取り組む感染対策に強い災害ボランティアの育成
28	理学研究科	教授	熊澤慶伯	名古屋圏における動植物の保全と持続的利用を目指した生物多様性研究
29	データサイエンス学部	准教授	原田峻平	上下水道施設の耐震化投資の促進に向けた研究ーアンケート調査による住民の支払い意思の計測ー
30	データサイエンス学部	教授	辰己賢一	鶴舞公園の暑熱環境緩和効果に関する定量的研究ー快適な都市・まちづくりに向けてー

○**スポーツ** すべての市民が生涯にわたりスポーツに親しむことを通じて健康増進に資する

No	所属	補職	申請者氏名	研究課題名
31	芸術工学研究科	教授	栗原康行	第20回アジア競技会（2026/愛知・名古屋）周知に関する動画コンテンツの制作実装とSNS効果（健康増進意識改革等）についての研究

○**SDGs** 誰一人取り残さない、経済・社会・環境が調和した持続可能で強靱な都市を構築

No	所属	補職	申請者氏名	研究課題名
32	医学研究科 (みどり市民病院)	教授	藤田義人	病院食フードロス削減と食物再利用に関する研究
33	薬学研究科	講師	堀英生	PTPシートリサイクルを起点とした新しい服薬状況確認システムの開発

34	薬学研究科	講師	安部賀央里	水道水中や環境中のPFAS関連物質による毒性影響の評価方法の開発
35	薬学研究科	名誉教授	林秀敏	熱田湊の活性化プロジェクト
36	看護学研究科	教授	尾崎康彦	アニマルウェルフェアとSDGs目標15の達成を目指した動物園飼育下大型類人猿の診療ネットワーク構築の検討

○**多文化共生・異文化交流** 国籍や民族などの異なる人々が互いを認め合い、共生できる、多文化共生都市の実現

No	所属	補職	申請者氏名	研究課題名
37	人間文化研究科	教授	久保田健市	外国にルーツのある子どもたちの心理発達支援の試み
38	看護学研究科	准教授	秋山直美	外国人住民を誰一人取り残さない防災・減災対策への取り組み
39	看護学研究科	教授	樋口倫代	日本語に制限のある人びととのコミュニケーション向上のための保健医療従事者研修プログラムの開発

○**ビッグデータ解析** ビッグデータ、AI等を活用し、人々が豊かな暮らしを享受できる新たな社会の実現

No	所属	補職	申請者氏名	研究課題名
40	医学研究科 (東部医療センター)	助教	和知野千春	医療ビッグデータとAIを活用してコロナ社会の課題解決を目指す ～新型コロナウイルス感染症後の後遺症リスク低減による豊かな暮らしの実現を目的としたAIによるデータ駆動型予測システムの構築～
41	データサイエンス学部	准教授	間辺利江	新興感染症の流行予測と恒常的情報発信－感染症に頑強な地域社会をめざして

○**ライフサイエンス** 疾患のメカニズムの解明、診断、創薬、医療、予防等のための知見獲得

No	所属	補職	申請者氏名	研究課題名
42	医学研究科	教授	瀬尾由広	名古屋オリジナルの心不全手帳活用による心不全診療の改革
43	医学研究科	教授	片岡洋望	癌細胞超選択的集積性を有した光感受性薬剤による次世代PDTの開発
44	医学研究科	教授	野嶋一平	老化予防のためのレジリエンス指向デジタル・バイオマーカー開発
45	医学研究科	教授	澤本和延	神経再生による脳機能回復：市民の健康改善に向けた革新的プロジェクト
46	理学研究科	教授	木村幸太郎	高齢化社会への基礎生命科学研究からのアプローチ：「抗老化」と「発生速度制御」のメカニズムの解明

○**その他市民に役立つ研究** その他市民の生活・社会環境等の整備に資する研究

No	所属	補職	申請者氏名	研究課題名
47	医学研究科	教授	松川則之	記憶障害早期診断マーカーの開発と検証
48	人間文化研究科	教授	吉田輝美	地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた地域とリハビリと福祉の連携構築
49	人間文化研究科	准教授	三浦哲司	時代の変化に適した子ども会への支援はどのようなものか？－自治体行政と大学による支援に注目して
50	芸術工学研究科	教授	栗原康行	名古屋市の地域包括ケアシステム構築（健康長寿や社会環境等）に貢献する協働コンテンツ開発とその公開およびその有用性の研究